

☐ カップの種類 用途とサイズ (容量は満水時)

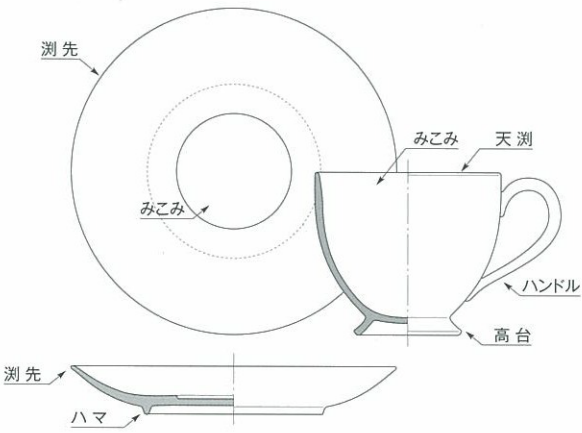


- ▶ **デミタスカップ**
Demitasse (After Dinner) Cup
【100~120cc】
食後の濃いコーヒーを少量飲むのに用いる。デミタスは半分の意味、AD (アフターディナー) カップとも云う。
- ▶ **アイリッシュカップ**
Irish Coffee Cup
【115~125cc】
ホットコーヒーにアイリッシュウィスキーを注ぎ、生クリームをたっぷりのせて飲む。そのためカップの背が高い。
- ▶ **コーヒーカップ**
Coffee Cup
【130~180cc】
コーヒー専用カップは一般的に冷めないように口径は小さく立型が多い。
- ▶ **ティーカップ**
Tea Cup
【180~240cc】
紅茶の色と香りを楽しむように、カップの口径が大きい。
- ▶ **ティー・コーヒー兼用カップ**
Tea Coffee Cup
【180~240cc】
一般的にコーヒーや紅茶に使われるカップ。
- ▶ **アメリカンカップ**
American Cup
【240~260cc】
兼用カップに対し北米向けのカップはひと回り大きく、形状もベル型が多い。
- ▶ **モーニングカップ**
Morning Cup
【260~320cc】
朝食のコーヒーやミルク、カフェオレに使う大きめサイズのカップ。

☐ カップの形状

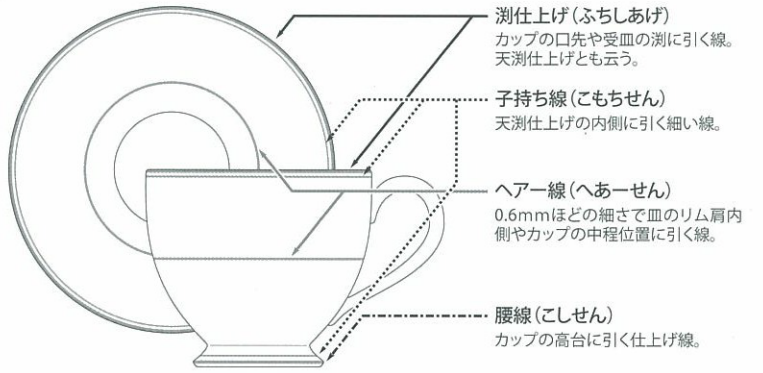


☐ 碗皿(カップ&ソーサー)各部位の名称



☐ 仕上げ線の名称

陶磁器に金や色で施された装飾線のことを仕上げ線と云う。施される位置により、いろいろな呼び名がある。日本や欧州では金の加飾が多く、北米ではプラチナ色が好まれる。ナギナタ状の特殊な筆やタンボを使い、熟練した技能者が手作業で加飾する。



☐ 手仕上げ(ハンドル仕上げ)の種類

カップのハンドル(把手)部分の仕上げを手仕上げと云い、いろいろな種類がある。ククリや描き起しなど複雑な仕上げは技能を要する。

- ・ハネ
筆で引く線を自然に消え入るように細く仕上げ上げるスタイルで、真ん中に1本だけ引く「一本ハネ」、両サイドに引く「二本ハネ」、両サイドと真ん中に引く「三本ハネ」がある。
- ・ククリ
ハンドルの上部をくくるのを「上ククリ」、下をくくるのを「下ククリ」と云う。また、上下ともくくる「両ククリ」などさまざまなバリエーションがある。
- ・バッチ
アクセント的に一部分だけに加飾したもの。あるいは、ククリの一部に加えたアクセント部分の呼び名。



☐ 内画(うちえ)の種類



- ワンポイント画**
みこみ部分に小さな画柄をアクセント的に施したもの。
- 細ボーダー画**
天測に沿って幅が細めの画柄をまわしたもので、ナローボーダーとも云う。
- 太ボーダー画**
天測にそって幅が太い画柄をまわしたもので、ワイドボーダーとも云う。
- 散らし画**
大きさに変化をつけた小花などのモチーフをバランスよく散らしたもので、スプレーとも云う。
- 全面画**
内面全体に画付けを施したもので、オールオーバーとも云う。

※解説にはノリタケ社内で使われる独自の用語が含まれています。

文化と出会い、森に響く。
ノリタケの森

ノリタケの森クラフトセンター内 ノリタケミュージアム
〒451-8501 名古屋市中区則武新町三丁目1番36号
TEL052-561-7114 [代] FAX052-561-7276

■ 交通 ■ 地下鉄東山線「亀島」駅下車2番出口より徒歩5分
JR名古屋駅～徒歩15分、名鉄栄生駅～徒歩15分

■ 駐車場 ■ 有り

